

兵庫 県
保険 協
医 会

西宮 支部 ニュース

No. 279
2009・10・25

発行
〒662-0074

兵庫 県 保 険 医 協 会
西宮市石川町十八ー八
連絡先 兵庫 県 保 険 医 協 会

西宮・芦屋支部
大森内科医院内
電話 〇七八(三九三)一八〇一

第5回胸部X-IP読影会

持ち寄った症例を 熱心に討論

西宮・芦屋支部は9月18日に西宮渡辺心臓・血管センターで、原秀樹先生(尼崎市・はら内科クリニック)を講師に、第5回胸部X-IP読影会を開催、12人が参加した。司会を橋野盛彦先生(西宮市・橋野医院)が務めた。参加者の感想文を紹介する。

この症例は非定型抗酸菌症を合併。
(5) 副鼻腔気管支症候群
副鼻腔炎が原因。後鼻漏の有無。性状に注意。

今回は「日常遭遇する閉塞性呼吸器疾患」と題して、「咳が続いている時に咳止めと去痰剤で様子を見ていないか?」、「どのような時に呼吸器疾患を疑うか?」についてお話しいただいた。

(1) 気管支拡張症
時に血痰がある。胸部X-IPでは輪状陰影。CTでは気管支拡張像、気管支壁肥厚像。

(2) 気管支喘息
スパイロ所見、FEV1の低下。効果を重視する時はステロイドの内服が必要。吸入ステロイドの持続は重要な治療である。

(3) 肺気腫
胸部X-IP、肺の拡張。低酸素血症。治療はスピリバ、HOT導入等。

(4) 慢性気管支炎
喫煙歴。気管支拡張の合併していることが多い。

検討された症例は以下の通り。

1、86歳男性。医者嫌い。本年1月に右胸水が認められ、穿刺にて血性胸水約2L排液あり。入院せず谷向先生と伴に訪問診療を行い、4月に死亡された。
2、81歳男性。咳が続いており、胸部X-IPにて右上部に径5〜8cmのmassを認め病院にてbiopsyを行ったが、大量出血を起こしてしまった症例。

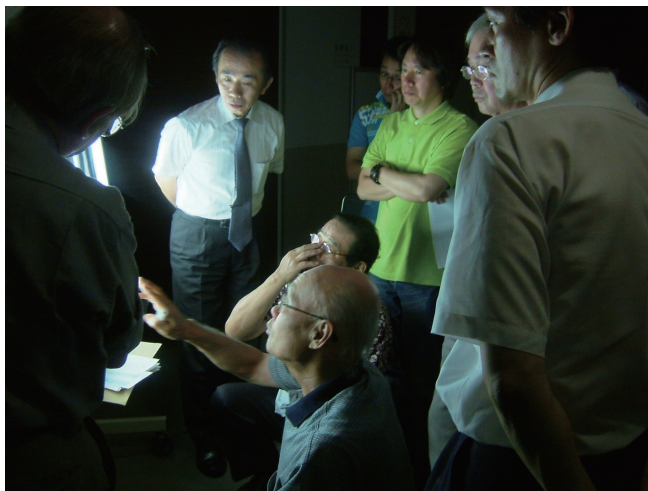
3、右肺門近くに不定形の陰影を認め肺癌(中皮腫)であった症例。不定形の説明のしにくい陰影は胸膜病変によるものが多い。この症例では上部でも左右の透過性が異なっており右胸膜全体が肥厚していた可能性が指摘された。

4、右上部に径1.5cmの陰影が認められ、また気管支の陰影も認められ、CTにて肺炎の修復過程と考えられた。フロアーからも熱心な討論が行われ、時間となったので閉会となった。

【西宮市・森医院 森博雄】



呼吸器系疾患についてスライドを使い
分かりやすく講演する原秀樹先生



持ち寄った症例を基に
熱心な討論を行う参加者

第76回評議員会・臨時(決算)総会 第32回共済制度委員会のご案内

【日時】 11月15日(日) 午後1時〜
・1時〜 第76回評議員会
・2時35分〜 臨時(決算)総会
・2時55分〜 第32回共済制度委員会
特別報告「金融情勢の行方と生保業界の経営戦略」
三井生命保険㈱常務執行役員 鶴岡重幸氏
・4時〜 特別講演「消費税は0%にできる」
日本金融財政研究所所長 菊池英博氏
・6時〜 懇親会(南京町・龍郷)
【会場】 兵庫県保険医協会会議室(神戸フコク生命海岸通ビル5階)
JR・阪神元町駅南へ徒歩7分(兵庫県農業会館西側)

世話人会だより

西宮・芦屋支部は9月25日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催した。出席は10人。

【報告】

- ① 第22回漢方研究会(9・5)
- ② 英語で診療#23(9・18)
- ③ 第5回X-IP読影会(9・18)

【協議事項】

- ① 第14回医療過誤訴訟セミナー(11・14)
- ② 第22回在宅医療研究会(11・21)
- ③ 英語で診療#24(12・4)
- ④ 阪神・淡路大震災15年のつどい(1・16)
- ⑤ 診療報酬改定研究会
- ⑥ ホームページ作成勉強会
- ⑦ 病診連携、勤務医と開業医の懇談会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

最新の予防接種事情を学ぶ

9月18日、西宮医療会館会議室で、講師に Robert Conroy 氏、司会に坂尾福光先生(ビューハイッククリニック)を迎え、「Vaccination In Children」小児の予防接種」をテーマに第23回 Medical English を開催。医師・歯科医師ら15人が参加した。アドバイザーを務められた谷口賢蔵先生(西宮市・谷口医院)の感想文を掲載する。

久しぶりに西宮・芦屋支部 Medical English に参加しました。今回はアドバイザーという立場もあり、随分と緊張しました。普段ほとんど英語を使う機会がないため、実力は落ちていると思っていました。元々実力のない身では、何ら変わりはありませんでした。今回、興味を覚えたのは、子どもに対する言葉のかけ方をたくさん教えていた

だいたひびす。
That is a nice dress / T-shirt. (5
ドレス/Tシャツですね)とか、You
were very brave. (頑張ったね)などは、
一度使ってみたいですね。たちまち子ど
もは親しみを覚えて、協力してくれると
思います。
アドバイザーとしては、最新の予防接
種事情をお話できたと思っています。様々
な質問を受け、今後の参考になりました。
ありがとうございました。

【西宮市・谷口医院 谷口賢蔵】



ワクチンを打つ場所の英語表現についての質問に丁寧に答える Robert Conroy 氏



発音についても一人一人の参加者に丁寧に指導した

英語で診療 Medical English #24

【日時】 12月4日(金) 午後2時~3時半
【会場】 西宮医療会館1階会議室
【テーマ】 「子宮頸部ガン検診と予防接種
(HPV)、乳がん検診」
【講師】 Com Language School
Mr Robert Conroy
【司会】 ビューハイッククリニック院長
坂尾 福光 先生
【アドバイザー】 林田クリニック院長
林田 英隆 先生

兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部 医療過誤・訴訟セミナーシリーズ⑭

医療機関におけるリスクマネジメント

患者・家族が怒るとき

~「これですんだ」のか、「こんな目にあった」のか~

日時：11月14日(土) 午後3時~5時
会場：兵庫県学校厚生会館2階大会議室
JR・阪神元町駅より北へ徒歩1分 078-331-9955(代)
講師：寺島道子法律事務所 弁護士 寺島道子 先生
アドバイザー：米田泰邦法律事務所 弁護士 鵜飼 万貴子 先生
司会：半田医院 半田 伸夫 先生

医療過誤として裁判になっている事例には、そもそも医療過誤とはいえないものもたくさんあります。逆に、医療過誤で深刻な損害が発生しても、裁判どころか紛争にもならない場合もあります。

争いになる必要のないことが争いになる原因は为什么呢。その根底には、医療従事者と、患者の事実の受け止め方の違いがあります。患者は「ないがしろにされた」と感じたときに怒ります。そうなるからではすべてが悪循環です。

私が患者側代理人としてこれまでに感じてきた、医療従事者と患者の事実の受け止め方の違いと、その原因としての医療の不確実性とその解についてお話をしたいと思います。

(寺島 記)



医療安全管理研修の受講証を発行いたしますので、医師・歯科医師・薬剤師はもちろん事務職・看護師などメディカルスタッフのみなさんご参加もお待ち申し上げます。

お問い合わせは・・・
事務局 岡林・山田・伊藤まで
Tel:078-393-1817 / Mail:shin-ok@doc-net.